

子宮頸がん予防ワクチン接種のお知らせ

子宮頸がんの主な原因となるウイルスの感染を予防するワクチンです。任意接種のため接種義務はありませんが、この機会に接種してください。

昨年度に初回または2回目を接種されている方は、残り分を忘れずに接種しましょう。

■接種内容

接種料金	無料
必要な物	母子手帳、健康保険証（本人確認のため）
接種場所	市内指定医療機関（市ホームページ参照）。事前予約が必要です。
対象年齢	平成8年4月2日～平成12年4月1日生まれの女子（中学1年生から高校1年生の年齢に相当する者） ※平成24年9月末日までに1回目の接種を行いましょ。
接種回数と間隔	サーバリックス／初回接種、2回目（初回接種1カ月後）、3回目（初回接種半年後） ガーダシル／初回接種、2回目（初回接種2カ月後）、3回目（初回接種半年後）

※原則、保護者同伴で接種してください。同伴できない場合は、事前に下記まで連絡してください。

【問合先】 健康課・健康係 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

町ぐるみ健診のお知らせ

9月、10月の「町ぐるみ健診」の実施日は次のとおりです。健診は自覚症状のないうちに受け、日頃から身体の状態を知ることが大切です。対象地区以外の方も受診できますので、まだ健診を受けられていない方は、ぜひ受診して、自身の健康管理にお役立てください。9月21日、10月22日の申込者数は少なく余裕があります。

■町ぐるみ健診日程

対象地区	健診日	場所
九会・富合	9月19日（水）、20日（木）、21日（金）	JA兵庫みらい本店（農協会館）
多加野・西在田・在田	10月18日（木）、19日（金）、22日（月）	
全地区（休日健診）	10月28日（日）	

※所定の申込書に必要事項を記入して、下記に郵送または持参してください。申込書は健康課、公民館、JA各支店にあります。

【問合先】 健康課・健康係 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

■納期内完納にご協力をお願いします

平成24年度市県民税（普通徴収）2期、国民健康保険税（普通徴収）2期の納期限は8月31日（金）です。納付書は、ハガキ（3つに折り畳んで圧着）で送付します。コンビニエンスストアでの納付も可能です。

問合先／税務課・税制係 ☎④ 8712

■個人事業税の納付をお忘れなく

平成24年度個人事業税第1期分の納期限は8月31日（金）です。納税は便利な口座振替をご利用ください。

問合先／北播磨県民局・加東県税事務所課税第1課 ☎ 0795-42-9339

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

産婦人科を紹介します

■体制概要

平成24年7月現在、常勤医師2名、非常勤医師3名で診療を行っています。手術は年間約180件あります。子宮筋腫や卵巣嚢（のう）腫などの良性疾患は可能な限り腹腔鏡手術を行っています。

子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌などの悪性疾患の場合は当院で、あるいは神戸大学病院、県立がんセンターなどと提携して、手術や抗癌剤治療、放射線治療を行います。

骨盤底筋の弛緩（しかん）による子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤、尿失禁、頻尿などには従来型の手術療法を行っています。メッシュやテープを埋め込む手術も症例によっては非常に有効ですが、当院では導入していません。

■一般診療

外来では、子宮癌検診、更年期障害や骨粗鬆症に対するホルモン補充療法など、一般的な診療を主として予約制で行っています。予約外で来院いただくと待ち時間が長くなる傾向があり、まれですが手術などの都合により、他院を受診していただくようお願いすることがあります。その場合は申し訳ありませんがご了承ください。

種々の不定愁訴に対して漢方薬に詳しい医師が、ご相談に応じています。

■不妊症、不育症

不妊症治療は、通常の検査から配偶者間の人工授精まで行っていますが、体外受精の体制はありません。主要な手技を排卵日に合わせることの多い不妊症治療の場合、土日祝日が休診となる総合病院は不利です。

不育症は、総合的な治療ができます。血栓傾向による

流産要因に対し、抗凝固療法も行っています。

■お産について

2011年の分娩件数は173件でした。そのうち帝王切開は50件です。医学部卒業生の大半が産婦人科を敬遠するうえ、昔より比率が高くなった女医が出産育児期間には直当できない、医師が夜間急病のない不妊症専門クリニックにシフトする傾向があるなどの理由で、

日本中で分娩を取り扱う産科医が激減しています。

日本の産婦人科医師の平均年齢が50歳を超え、当院でも50代後半の医師が頑張っており、厳しい現状です。

■産科病棟

病棟の東3階病棟はマタニティーセンターと言い、その名の通り、妊婦、産後まもない女性と新生児のみの病棟です。お産で入院される場合は、原則個室でゆったりとしていただけます。スタッフは全員助産師で、妊娠分娩育児に関してサポート体制（ご自宅や携帯に電話をして様子を尋ねたりするなど）が充実していると自負しています。

しかし、NICU（新生児専門の集中治療室）がないので、小さい赤ちゃんや、早産の危険がある妊婦さんなどは、加古川西市民病院のようなNICUつきで産科のスタッフの多いところに転院していただくことがあります。

以上、当院産婦人科の概要を欠点弱点も包み隠さず申し上げます。今後ともよろしく願い申し上げます。

（診療部長兼産科部長 菅原正人）



家族と共に出産を迎えられる分娩室



家族も泊まれる病室

「北はりま絆(きずな) ネット」で診療情報の共有がよりスムーズに

「北はりま絆ネット」とは患者さんの診療情報を、本人同意のもと、関係する医療機関同士で共有するシステムです。登録病院から出た薬や注射、血液検査の結果、画像検査などを診療所医師が閲覧することができ、薬や検査の重複を避けることができます。「北はりま絆ネット」は、平成23年12月から開始されました。

当初は登録病院（市立加西病院、加東市民病院、市立西脇病院）と開業医間でのみ診療情報の共有が可能でしたが、7月から登録病院同士での共有も可能になりました。

患者さんが「北はりま絆ネット」を利用するには、登録医療機関に診療情報公開のための参加同意書を提出してください。参加同意書は登録医療機関にあります。

「北はりま絆ネット」に参加するための費用負担はありません。

【問合先】 北播磨県民局・加東健康福祉事務所企画課 ☎0795-42-9355 FAX 0795-42-4050